

子供とともに 本をひらこう 未来のページ
(「第2次大洲市子供読書活動推進計画」より)

図書室の先生
おすすめ

うちどく 絵本リスト

小学校
高学年版



「うちどく(家読)」とは、家族で同じ本を読み、その本について話し合うことです。
「うちどく」で家族のきずなを深めましょう！

毎月第3日曜日は“うちどくの日”

●うちどくをはじめるなら、まずは絵本がおすすめ！●

絵本は短い時間で読める上に、文章や絵、読む^{ねんれい}年齢によっても様々な感想を持てるので、幅広い年代が一緒に読む「うちどくの本」として最適です。そこで、市内の学校の図書室の先生に、家族で読んでほしい本を、絵本を中心におすすめしてもらいました。

いっしょにいきるって、なに？ 第2版

オスカー・ブルニフィエ/文
西宮 かおり/訳 重松 清/日本版監修
フレデリック・ベナグリア/絵
朝日出版社 2020年 ¥1600



ひとつの問いにもいろいろな答えがある。
いっしょにいきるとは何か、自分なりの答えをさがしてみましょ
う。本の最後には重松清書き下ろしの「おまけの話」も付いてい
ます。



ペーとぼく

やぶき みちこ/文 小川 かなこ/絵
くもん出版 2020年 ¥1300

ぼくが生まれた次の日にうちにやってきた、子猫のペー。同い年のぼくたちは、いっしょに大きくなって…。少年の目線から、自身の成長とペットと過ごす日々、別れをえがいた物語。



ゆうこさんのルーペ

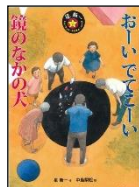
多屋 光孫／文・絵 はが ゆうこ／原案
ふじい かつのり／監修
合同出版 2020年 ¥1800

ゆうこさんは、生まれたときから目がよく見えません。大好きな本を読むときは、いつも「ルーペ」をつかいます。ゆうこさんの「ルーペ」が不思議で仕方ないはやくんは…。実話をもとにした、障害とは何かを身近に考える絵本。

おーいでてこーい 鏡のなかの犬

星 新一／作 中島 梨絵／絵
ミキハウス 2017年 ¥1300

ある村にあらわれた、なぞの穴。地球の中心までつき抜けているようなその穴は、捨てたいものをなんでも引き受けてくれた。おかげで都会はきれいになっていったが…。星新一のショートショートの名作2話を収録した絵本。



このあと どうしちやおう

ヨシタケ シンスケ／作
プロンズ新社 2016年 ¥1400

死んだおじいちゃんの部屋を掃除していたら、「このあとどうしちやおう」と書かれたノートが出てきて…。死んだらどうなる？ どうしたい？ 生きてる間に考えよう！ ヨシタケシンスケの発想えほん第3弾。見返しに絵あり。



ここで土になる

大西 暢夫／著
アリス館 2015年 ¥1400

ダム建設にゆれた村で、変わらず、動かず、そこに暮らし、土を耕し続けた夫婦がいる。村人が全員去った集落に根を張って生きる老夫婦と大イチョウの物語を、写真とともにつづる。見返しにも写真あり。

せいめいのれきし 改訂版

バージニア・リー・パートン／文・絵
石井 桃子／訳 まなべ まこと／監修
岩波書店 2015年 ¥1700

地球のうえでの生命の歴史。それは、序幕はあっても終幕のない、おおきなおおきな劇。銀河系の誕生から現在のひとびとの生活までを、パートンが美しい絵とリズムのある文で紹介。最新の知見に合わせて見直した改訂版。



いるの いないの

京極 夏彦／作 町田 尚子／絵
東 雅夫／編
岩崎書店 2012年 ¥1500

おばあさんの古い家で暮らすことになった「ぼく」。ある日、家の梁の上の暗がりを見ていた「ぼく」は、じっと下を見ている男の顔を見つけた。こわくなった「ぼく」は、おばあさんに聞いてみるのだけど…。

ほしに むすばれて

谷川 俊太郎／文 えびな みつる／絵
文研出版 2009年 ¥1300

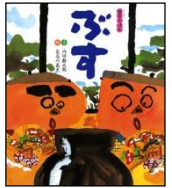


祖父から母親、そして孫へと時間をかけて
伝わる星空の魅力。星空が大好きだったおじいちゃんの人生を、
小さな子どもの目から振り返ります。夜空に輝く星たちをながめ
たくなる絵本。

○

ぶす

内田 麟太郎／文 長谷川 義史／絵
ポプラ社 2007年 ¥1200



主人から預かったつぼの中に入った「ぶす」
は、その上を吹いてきた風にあたるだけで命を失うという、危ないもの。でも、つぼの中を覗いてみると、なんともおいしそう
で…。狂言の演目「附子」をアレンジした絵本。

○



ひらがなにっき

若一の絵本制作実行委員会／文
長野 ヒデ子／絵
解放出版社 2008年 ¥1900

学校に行っていないために文字が読めな
かった吉田一子さんは、60歳を越えてから「富田林識字学級」で
文字を学び始めました。吉田さんの識字作品を元に、日々の生活
を絵日記風に描きます。

○

祇園精舎

山本 孝／絵 齋藤 孝／編
ほるぷ出版 2007年 ¥1200



声にだして語り継がれてきた「平家物語」
の冒頭、最も有名な暗誦の定番「祇園精舎」が絵本に。琵琶法師
の巧みな語り的魅力に魅せられて、観客たちが見たものとは…？ 武士の
物語と、根底に流れる無常観とを描いた大迫力の絵本。

○



ローザ

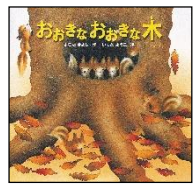
ニック・ジョヴァンニ／文
ブライアン・コリアー／絵 さくま ゆみこ／訳
光村教育図書 2007年 ¥1700

「公民権運動の母」として有名なローザ・
パークス。彼女の静かな決断が、やがて全米を動かす大きな運動
を引き起こした。時代を超えて、すべての人々に夢と希望を与え
るノンフィクション絵本。

○

おおきなおおきな木

よこた きよし／作 いもと ようこ／絵
金の星社 2005年 ¥1300



おおきなおおきな木がありました。木には
おおきな穴があいていました。その穴でひと休みすると、不思議
な夢をみるのです…。みんなに勇気をあたえてくれるおおきな木
が話してくれたのは、まだ小さな木だったころのお話でした。

○



かようびのよる

デヴィッド・ウィズナー／作・絵
当麻 ゆか／訳
徳間書店 2000年 ¥1400

その晩、あたりが暗くなると、なにかが起こる…。豊かなイメージのイラストレーションで描く、コールデコット賞・絵本にっぽん賞特別賞受賞作。1992年に福武書店から刊行されたものを再刊。

ラブ・ユー・フォーエバー

ロバート・マンチ／作 乃木 りか／訳
梅田 俊作／絵
岩崎書店 1997年 ¥1300

お母さんは子どもをだっこしながら歌います。〈アイ・ラブ・ユーどんなときも〉子どもが大きくなって、9さいになり、ティーンエイジャーになっても…。親子の愛情のきずなを静かに語る絵本。



絵とき ソウの時間とネズミの時間

本川 達雄／文 あべ 弘士／絵
福音館書店 1994年 ¥1300

ガリバーが小人国に流れついた。小人の12倍の背だけがあるガリバーは、小人の何倍の食事をとるのだろうか？体の大きさが違ったら食べる量もかわってくる。大きい動物、小さい動物、それぞれの動物の一生の時間も違ってくる。



猫の事務所

宮沢 賢治／作 黒井 健／絵
偕成社 1994年 ¥1600

猫の事務所の書記の中に一匹のかま猫がいました。かま猫は寒さに弱くて夜かまどの中に入って眠るため煤で汚れていて、猫仲間にきらわれていました。宮沢賢治の童話を黒井健が繊細かつ緊張感のある絵本に。

いつも ちこくのおとこのこ

ジョン・バーニンガム／さく
たにかわ しゅんたろう／やく
あかね書房 1988年 ¥1500



ジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシー、おべんきょうしにてくてくでかける。その途中小いびきのわいが…。どうしても遅刻してしまう少年と、そんな彼を厳しく罰する先生ですが。

価格は2021年12月現在の本体価格です。

○のついた本の内容紹介は、TRCマークを使用しています。

掲載については出版社の許諾を得ています。

無断で転載することを禁じます。



2022年3月発行
大洲市立図書館